

梅原の子

Umehara Elementary School

梅原小学校 学校だより

令和5年 10月号

◇「笑顔100%」に詰まった思いやりと信念

10月7日(土曜日)は、「笑顔100%」のスローガンを大切にして取り組んだ運動会でした。“異例”の暑さとなった9月。思うように練習ができず、時間を短くしたり、場所を変えたりと、変更が続きました。急な予定変更戸惑ったり、もっとやりたいと思ったり、暑くて疲れてしまったり、困ったことはたくさんありました。それでも、子どもたちは、時間を大切に使う取り組みました。その中で、心に残った場面を紹介します。

応援練習がはじまったころ、学級閉鎖になった学年がありました。当然その学級は練習が進みません。それを心配した応援リーダーの6年生が、休み時間に特別に練習したいと先生に相談し、休み時間の特別練習が実現しました。お休みをしていた学級の子たちも、応援リーダーのお兄さん、お姉さんの気持ちにこたえて一生懸命練習をしました。それぞれが、楽しみにしている休み時間を使っての取組でしたが、そこにはお互いを大切にする思いやりがありました。

暑さで、休み時間、外で遊ぶこともままならない日が続きました。外で遊べる日には、児童の歓声があがるほどでした。その貴重な休み時間に、校庭の草取りをする6年生の姿がありました。「自分の時間を使って、自分がよいと思うことをする。今年の運動会を成功させたい！」という強い意志が現れた姿でした。

当日は、快晴に恵まれ、笑顔にあふれる運動会ができました。地域の方と触れ合う「ふれあい玉入れ」には、多くの皆さんにもご参加いただきました。地域の人とできた玉入れがとてもたのしかった、と振り返る児童もいました。会の終わりには、創立150周年を祝うバルーンリリースも行えました。児童の勇姿を支えてくださった皆様、ありがとうございました。



◇教育図書〈田口文庫〉が寄贈されました。

梅原小学校の図書室に、今年度、田口福寿会様から本が寄贈されました。この田口文庫は、とても歴史が長く、西濃運輸株式会社(現在のセイノーホールディングス株式会社)の創業者である、故田口利八(たぐちりはち)氏夫妻が、昭和47年に岐阜県内の学校教育の学習環境の向上を願い、公立小学校及び特別支援学校に図書の寄贈を始められ、今日まで毎年続けておられるものです。昭和47年から令和5年度までに延べ2,297校に99万1,967冊の希望図書が、岐阜県内の学校に贈られています。今年度いただいた本は、図書室入り口の書棚に並べてあります。

先日、図書室を訪れますと、貸し出しがはじまったばかりの田口文庫の新刊コーナーには、多くの児童がおり、借りる図書を選んでいました。図書委員長は、「新しい本が入って、みんなテンションがあがってます。たくさん借りてくれるからうれしい。」と話してくれました。放課後にもう一度、田口文庫をのぞいてみると、書棚にはたくさんの代本板がありました。全校児童53名のうち、なんと38名分の代本板があり、7割を超える児童が借りていました。

子どもたちが興味をもち、目を輝かせて本を選ぶという機会をいただきました「田口福寿会」様、ありがとうございました。



ゆう・友・ふれあいフェスタ 11月11日(土)

2023のゆう・友・ふれあいフェスタが実施されます。運動会に続いて、地域のみなさまとのふれあいができる機会を、児童も楽しみにしています。

日時・場所	11月11日(土)	梅原小学校	体育館	開場：8時30分
プログラム	8:45	開会式		
	9:00	小学校の部「ギネスに挑戦 市制20周年記念行事梅原バージョンを体験しよう」		
	9:00	青少年育成協議会の部	レクリエーション	・ 音楽鑑賞会
	11:40	閉会式		

※今年度も、感染拡大防止のため、飲食はなしとなっております。

※当日は、室内で運動ができる靴をご準備ください。